

令和3年度

全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会

法人管理事務運営部会 実施案内

主催 一般財団法人日本私学教育研究所／後援 日本私立中学高等学校連合会

【研究のねらい】

激変する社会を生き抜く私学の働き方改革 ～これからの部活動とワーク・ライフ・バランス～

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、新しい生活様式・働き方改革が社会全体に浸透した。私立学校においても、オンライン授業の実施にとどまらず、部活動のあり方の見直しや教職員のテレワーク導入等大きな変化があった。今後、更に部活動改革や働き方改革に努めることで、激変するポストコロナ時代において、教職員のワーク・ライフ・バランスを実現し、教育の充実につなげることができるだろう。

当部会では、激変する社会を生き抜くための働き方改革に焦点を当て、これからの私学における働き方やワーク・ライフ・バランスについて妹尾昌俊氏による講演、ポストコロナ時代における部活動のあり方やこれからの教職員の働き方について東京成徳大学中学高等学校、学校法人芝学園の2校による実践報告を行う。研究討議では、参加者が意見・情報交換を行い、最新情報と課題を共有することで、各学校における課題解決の手がかりを探っていく。

◆会 期◆ 令和3年11月26日（金）

◆会 場◆ KFC Hall & Rooms

東京都墨田区横網一丁目6番1号 TEL 03-5610-5801

●JR中央・総武線「両国駅」東口より徒歩約6分

都営地下鉄大江戸線「両国駅」A1 出入口より徒歩0分

◆募集人数◆ 60名

◆参加対象◆ 理事・事務局長・事務長等の事務管理職並びに校長・副校長・教頭・教務部長等の教育管理職
※参加対象校は、都道府県私学協会加盟の私立中学校・高等学校・中等教育学校

◆参加費◆ 18,000円（昼食費を含む）

◆研修内容◆

【講演】「私立学校における働き方改革をどう進めるか～ワーク・ライフ・バランスのよい職場づくりはなぜ大切か～」
妹尾 昌俊 教育研究家、合同会社ライフ＆ワーク代表
NPO 法人まちと学校のmiraい理事
学校業務改善アドバイザー

【実践報告Ⅰ】「これからの部活動が進むべき方向とは？」
野中 修也 東京成徳大学中学高等学校前副校長

【実践報告Ⅱ】「芝中学校芝高等学校教職員の働き方について」
野尻富太郎 学校法人芝学園常務理事・事務局長
堀口 貫治 芝中学高等学校副校長

【研究討議】「激変する社会を生き抜く私学の働き方改革」
グループ討議（1グループ10～15名程度）・・・参加者による討議と情報交換

◆日 程◆ ※プログラムは変更になる場合があります。

9	10	11	12	13	14	15	16	17
	30	10	40	40	50	30	40	30
受付	開 会 式	実践報告Ⅰ (60分)	実践 報告Ⅱ (30分)	昼食	研究討議Ⅰ (70分)	講演 (90分)	研究討議Ⅱ (50分)	閉 会 式

◆講師プロフィール・学校紹介◆

【講演】

妹尾 昌俊（せのお まさとし） 教育研究家、合同会社ライフ&ワーク代表
NPO 法人まちと学校のみらい理事
学校業務改善アドバイザー



徳島県出身。京都大学大学院法学研究科を修了後、野村総合研究所を経て、2016 年から独立。文科省での講演のほか全国各地の管理職研修、教員研修、事務職員研修、講演、教育委員会等のアドバイザーなどを手がけている。現在、単著 8 冊の本を出版。執筆活動も精力的に行っている。学校業務改善アドバイザー（文科省委嘱のほか、埼玉県、横浜市、石川県、高知県、宮崎県等）、中央教育審議会「学校における働き方改革特別部会」委員、スポーツ庁、文化庁において、部活動のあり方に関するガイドラインをつくる有識者会議の委員も務めた。NPO 活動では、中高生と地域人材が地域課題解決に取り組む「市ケ尾ユースプロジェクト」の企画・運営などにも携わっている。

【実践報告Ⅰ】

学校法人東京成徳学園 東京成徳大学中学高等学校（理事長・校長 木内 秀樹）

本校の教育目標の一つに「文武両道」がある。学問と部活動は互いに深く関係しあい、相加相乗的な効果を上げると信ずる。自分を苦しめる学習・練習負担にも、正面から真っ向勝負を挑む。そのようなたくましい精神の育成を目指している。さらに「強くなければ生きていけない。優しくなければ生きる意味がない」を目指し、共に前進する仲間との絆を互いへの思いやりで強く結ぶ。

本校の部活動加入率は 85%を超え、互いに切磋琢磨し、友情を深める。それが安定した学習活動、高い学習意欲へとつながっている。昨年度女子バスケットボール部はウィンターカップ（全国選手権）にて準優勝を果たした。ラクロス部、バトントワリング部も全国大会優勝の経験を持つ。

【実践報告Ⅱ】

学校法人芝学園 芝中学高等学校（理事長 小林 正道、校長 武藤 道郎）

芝増上寺境内で明治 39 年創立以来 115 年を迎える中高一貫の男子校。13 世紀浄土宗関東十八檀林の僧侶養成に当たった増上寺の中の教育担当部局に発し明治 20 年発足した浄土宗学東京支校が前身。東京の中心部で東京タワー、東京プリンスホテル、愛宕ヒルズ等近代的な建築物に囲まれた立地でありながら芝増上寺の境内地であった自然豊かな芝公園に囲まれ仏教校らしくのんびりした校風が特徴。

校訓は遵法自治。道徳教育と宗教的情操教育を根幹において真理を愛し創意に富んだ個性豊かな奉仕的人格をめざして教職員は学習の指導に当たっている。進学校には珍しく学校説明会でも大学合格実績に言及しないユニークな学校。

◆講師・報告者・指導員（順不同）◆

妹尾 昌俊 教育研究家、合同会社ライフ&ワーク代表
NPO 法人まちと学校のみらい理事
学校業務改善アドバイザー
野中 修也 東京成徳大学中学高等学校前副校長
野尻 富太郎 学校法人芝学園常務理事・事務局長
堀口 貫治 芝中学高等学校副校長
吉田 晋 富士見丘中学高等学校理事長・校長
平方 邦行 一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長

◆専門委員・指導員（順不同）◆

工藤 誠一 聖光学院中学高等学校理事長・校長
嵯峨 実允 学校法人藤華学院理事長
服部 泰啓 学校法人信愛学園理事長
摺河 祐彦 姫路女学院中学高等学校理事長・高校長
川島 英和 学校法人川島学園理事長
野尻 富太郎 学校法人芝学園常務理事・事務局長
川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長

◆会場案内図◆

●都営地下鉄大江戸線「両国駅」

A1 出入口より徒歩 0 分

JR 中央・総武線「両国駅」東口より徒歩約 6 分

（右記地図参照）



◆プログラム◆

【全体会場】KFC Hall & Rooms 3階 KFC Hall

9:00～9:30	◇受 付◇
9:30～10:00	◇開 会 式◇ 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長 1. 開会 2. 主催者代表挨拶 吉田 晋 一般財団法人日本私学教育研究所理事長 3. 役員・専門委員紹介 4. 研修会運営方針説明 工藤 誠一 法人管理事務運営専門委員長 5. 日程説明 6. 閉式
10:00～11:00	◇実践報告Ⅰ◇ 司会 法人管理事務運営専門委員 テーマ 「これからの部活動が進むべき方向とは？」 報告者 野中 修也 東京成徳大学中学高等学校前副校長
11:10～11:40	◇実践報告Ⅱ◇ 司会 法人管理事務運営専門委員 テーマ 「芝中学校芝高等学校教職員の働き方について」 報告者 野尻富太郎 学校法人芝学園常務理事・事務局長 堀口 貫治 芝中学高等学校副校長
11:40～12:40	◇昼 食◇
12:40～13:50	◇研究討議Ⅰ◇【会場 10階・11階 Room100,106,107,108,113】 司会・進行 法人管理事務運営専門委員 テーマ 「激変する社会を生き抜く私学の働き方改革（午前の実践報告Ⅰ・Ⅱを受けて）」 法人管理事務運営専門委員が司会を務め、10～15名程度のグループに分かれて、参加各校の現状や課題等について意見交換を行います。
14:00～15:30	◇講 演◇ 司会・講師紹介・謝辞 法人管理事務運営専門委員 演 題 「私立学校における働き方改革をどう進めるか ～ワーク・ライフ・バランスのよい職場づくりはなぜ大切か～」 講 師 妹尾 昌俊 教育研究家、合同会社ライフ＆ワーク代表 NPO 法人まちと学校のみらい理事 学校業務改善アドバイザー
15:40～16:30	◇研究討議Ⅱ◇【会場 10階・11階 Room100,106,107,108,113】 司会・進行 法人管理事務運営専門委員 テーマ 「激変する社会を生き抜く私学の働き方改革（講演を受けて）」
16:30～17:00	◇閉 会 式◇ 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所 理事・事務局長 1. 開式 2. 研究討議の各グループからの報告 3. 総括 工藤 誠一 法人管理事務運営専門委員長 4. 閉会挨拶 平方 邦行 一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長

※プログラム・内容は変更となる場合があります。

◆参加者へのお願い◆

当研修会において主催者記録係以外による録画・録音を禁止しております。また、講師・発表者の許可無く写真・内容等を HP・ブログや各種 SNS 等へ掲載することにつきましても禁止しております。ご理解・ご協力の程よろしくお願ひします。また、今後、当研修会の広報活動等で主催者記録係が撮影した写真を使用させていただく場合がございます。会場内の様子を撮影する関係上、参加者が映り込む可能性がございますので予めご了承下さい。

◆参加申込方法◆

1. 「参加申込書」に必要事項をご記入の上、下記申込先に FAX または郵送でお送り下さい。
お電話での申込はできません。

申込先

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷 UN ビル 6 階
「一般財団法人日本私学教育研究所 私立学校専門研修会係」宛
電話 03(3222)1621 FAX 03(3222)1683
ホームページ <https://www.shigaku.or.jp/>



2. 申込は先着順に受付けます。募集人数を超えた場合は期日前でも締切となる場合があります。
申込を締切った場合は当研究所ホームページでお知らせします。

申込み締切日 11月12日(金)必着

3. 参加申込書受付後、「参加確認証」及び「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）」をお送りします。
参加費は「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）払込用紙」で、指定されたコンビニエンスストアで下記
振込期限までにお振込下さい。なお、参加費の領収書は「払込受領書」をもって代えさせていただきますので、
大切に保管して下さい。「参加確認証」は、研修会当日受付にご提出下さい。

参加費振込期限 11月18日(木)

◆注意事項◆

＜参加申込について＞

申込後、2週間以内に「参加確認証」「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)」が届かない場合は電話にてご連絡下さい。

＜変更・キャンセル・欠席について＞

必ず FAX にて日本私学教育研究所へご連絡下さい。 **キャンセル期限 11月18日(木)**

キャンセルの場合は、「キャンセル確認書」を FAX にて返信します。

変更の場合は、「参加確認証（再発行）」を郵送します。上記書類が届かない場合は、必ず電話にてご確認下さい。

11月18日(木)迄のご連絡	11月19日(金)以降のご連絡及び無断欠席
事務手数料1,000円を差引いた参加費を返金します。	参加費の返金はできません。 研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。参加費未払いの場合は、キャンセル料として全額(18,000円)を申し受けます。天変地異や自然災害等によるキャンセルの場合は、状況により対応しますのでご相談下さい。

◆新型コロナウイルス感染症について◆

- (お願い) ○会期中はマスク等の着用、咳エチケット、手洗い及び手指の消毒、社会的距離の確保にご協力下さい。
○当日 37.5 度以上の熱のある方、体調のすぐれない方などは出席をお断りする場合があります。
その際は研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。
○参加費の返金・キャンセル料の取扱については、各研修会実施案内をご確認下さい。
○受付時に「体調管理チェックシート」をご提出いただく場合があります。
- (対策) ○受付での検温及び手指の消毒、会場・備品の消毒・換気、座席の間隔を広げ人と人との距離をとる
など密閉、密集、密接の回避に努めます。
○必要に応じて飛沫防止パーティション等を設置します。
○講師並びに運営関係者・スタッフはマスク等を着用するなど感染防止に努めます。
○座席は指定席とします。
- (対応) ○新型コロナウイルス感染が疑われる研修会参加者・関係者が発生した場合は、保健所等の公的機関に
協力し、必要な情報提供を行います。

●新型コロナウイルス感染症への対策・対応等は随時更新しますので、当研究所ホームページをご覧ください。

◆個人情報の取扱いについて◆

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証及び研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要がある場合のみに利用します。

◆傷害保険について◆

当研修期間中の参加者等の傷害保険には加入しませんのでご承知置き下さい。

〔申込締切日 11月12日（金）必着〕

※送信前に今一度、FAX 番号をご確認下さい。O(ゼロ)発信の FAX 機でお送りいただく場合は、「O」を押してから、FAX 番号を押して下さい。

令和 3 年__月__日

※FAX または郵送でお申し込み下さい。

受付

No